

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

| | | | |
|------------------|--|-------------------|-----------|
| 施設名 | 山梨県立愛宕山少年自然の家 | 所管課 | 子育て支援課 |
| 所在地 | 甲府市愛宕町358-1 | 設置年月日 (改築年月日等) | 昭和48年8月9日 |
| 管理方式 | 指定管理者(公益財団法人山梨県青少年協会、平成18年4月1日～) | | |
| 設置根拠 (法律、条例等) | 山梨県立少年自然の家設置及び管理条例 | | |
| 設置目的 | 恵まれた自然の中で少年の豊かな情操を養うとともに、集団宿泊生活を通して自立、協同、友愛及び奉仕の尊さを体験的に学習させ心身ともにたくましい少年を育成するため、少年自然の家を設置する。 山梨県教育委員会からの管理運営事務の委任年月日 ・昭和48年8月1日 | | |
| 主な施設内容 (定員等) | 1階 大ホール(144㎡) 2階 工作室(78㎡)第一研修室(74㎡)第二研修室(67㎡) 3階 食堂(156㎡)利用者入口 男女浴槽 4階 宿泊室 15部屋 定員各10人 事務室(96㎡) | | |
| 主な業務内容 | 利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 体育、レクリエーション及び野外活動に関する業務 | | |

2 類似施設・近隣施設

| | |
|---------------------|---|
| 名称 施設内容 利用状況等 | (1) 山梨県立八ヶ岳少年自然の家:定員210人 (2) 山梨県立なかとみ青少年自然の里:定員108人 (3) 山梨県立ゆずりはら青少年自然の里:定員100人 |
|---------------------|---|

3 利用状況

単位:人、%

| | | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 (目標値) |
|------|-----------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---|
| 利用者数 | 施設利用者数 | 16,356 | 17,392 | 18,924 | |
| | 事業参加者数 | 361 | 445 | 439 | |
| | 利用者数合計 | 16,717 | 17,837 | 19,363 | |
| | 目標値 | 21,837 | 22,056 | 22,276 | 19,467 |
| | 目標値設定の考え方 | 平成22年度目標値の1%増を目標値と設定している。 | 平成23年度目標値の1%増を目標値と設定している。 | 平成24年度目標値の1%増を目標値と設定している。 | 平成24年度の実績7%増を25年度目標値と再設定し、その2%増を目標値と設定している。 |
| | 対23年度比 | 100.0% | 106.7% | 115.8% | 116.5% |
| 稼働率 | 34.8% | 35.1% | 38.6% | | |

4 収支状況

単位:円、%

| | | 平成24年度 | 平成25年度 (計画値) | 平成25年度 (実績値) | 平成26年度 (計画値) |
|---------------|--------------|------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 収入 | 施設利用料 | 2,313,000 | 2,903,000 | 2,377,550 | 2,584,000 |
| | 指定管理者委託料 | 57,190,000 | 56,807,000 | 56,807,000 | 61,742,000 |
| | その他 | 1,710,000 | 1,635,000 | 1,845,321 | 455,000 |
| | 収入合計(A) | 61,213,000 | 61,345,000 | 61,029,871 | 64,781,000 |
| 支出 | 人件費 | 30,898,000 | 33,048,000 | 33,627,438 | 33,502,000 |
| | 県への納付金 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 管理運営費 | 30,197,000 | 28,297,000 | 29,845,285 | 31,279,000 |
| | (うち外部委託費)(B) | 8,181,000 | 6,741,000 | 6,244,862 | 7,250,000 |
| | 支出合計(C) | 61,095,000 | 61,345,000 | 63,472,723 | 64,781,000 |
| 収支差額(A - C) | | 118,000 | 0 | 2,442,852 | 0 |
| 外部委託比率(B ÷ C) | | 13.4% | 11.0% | 9.8% | 11.2% |
| 利用者一人当りの経費 | | 3,206 | 2,550 | 2,934 | 3,172 |

5 利用者満足度

| | | |
|-------|------|--|
| 実施方法等 | 調査項目 | 実施時期:平成25年4月～26年3月、実施方法:利用者へのアンケート、回答数:240人 |
| | 調査項目 | 実施時期:平成25年4月～26年3月事業実施時、実施方法:事業参加者へのアンケート、回答数:300人 |

単位: %

| 調査項目 | 満足・十分 | 普通・ どちらでもない | 不満足・ 不十分 | 不明・ わからない |
|--------|-------|----------------|-------------|--------------|
| 施設の状況 | 66.8% | 19.8% | 1.2% | 12.3% |
| 清掃状況 | 87.5% | 7.3% | 1.3% | 4.0% |
| 職員の対応 | 91.4% | 5.9% | 2.7% | 0.0% |
| 事業内容 | 69.2% | 14.8% | 3.0% | 13.0% |
| | | | | |
| 各項目の平均 | 78.7% | 12.0% | 2.1% | 7.3% |

| | |
|------------|--|
| 利用者の意見 | 同じ曜日に利用しているので、いつも食事メニューが同じである。 ナイトハイクで反射板がない、または見にくい。 食堂と連絡がとれない。 安い料金でこれだけの施設を提供していただきありがたい。自然いっぱいの中でとても楽しい経験ができた。 |
| 利用者の意見への対応 | 現状は曜日別のメニューとなっているので、日付でローテーションできるように工夫していく。 反射板の付け替え作業を行った。定期的に点検を行っていく。 業者の固定電話へは繋がりにくい時間があるので、時間の明記など手続きがスムーズにいくよう改善していく。 愛宕山ならではの自然体験ができるよう工夫していく。 |

6 評価結果

| | 指定管理者の自己評価 | 施設所管課の評価 |
|--------------------------|--|--|
| 維持管理業務 | 定期的に巡回・点検を行うことにより、施設内の安全及び適正管理に努めている。 | 計画どおり適正に業務執行されている。 |
| 運營業務 | 安全に、楽しく利用できるよう、事前打ち合わせを適切に行い、必要な指導・援助を行った。 | 計画どおり適正に業務執行されている。 |
| 自主事業 | | |
| 利用状況 | 前年度からの広報活動、家族や少人数団体の受け入れを積極的に行い、利用者数、稼働率は増えている。 | 利用者数、稼働率ともに昨年度より増加している。 引き続き利用者ニーズに合致した事業展開を図るとともに、PRを工夫し新規利用者の確保などの取り組みを進めること。 |
| 収支状況 | 収入については、概ね目標に近い数値であった。 燃料費が増加したが、その他は概ね予算の範囲で執行できた。 | 燃料費の高騰等はあったものの、支出の縮減に努めている。 |
| 利用者満足度 | 利用者との直接的な関わりは良い評価を得ている。 施設面においても、定期的に点検・整備を行うことで利用者に満足いただけるよう努力していく。 | 宿泊施設は概ね高い評価を得ている。 引き続き利用者の満足度向上に向けた取り組みを全職員に徹底させること。 |
| 運営目標の達成状況 | <p>運営目標は概ね達成している。 利用者数は、目標からは87%と下回っているが、2月の記録的豪雪の影響があったなか昨年度に比べ約9%増加している。 主催事業は、中止事業もあったことから目標を達成できなかったが、募集開始後短時間で募集定員に達する事業が多い。参加率の低い事業については、事業の見直しや募集方法の工夫が必要である。</p> | |
| 施設所管課による総合的な評価及び指導事項 | <p>施設管理・主催事業について、業務計画書等に基づき適正に執行されている。 引き続き、利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上を進めるとともに、引き続き利用者の増加に向けた取り組みを行うこと。</p> | |
| 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況 | <p>利用者アンケートや参加率などから既存の事業の見直しを行うことにより、より魅力ある施設となるよう取り組んでいる。 利用者の満足度の向上のため、業務計画書に沿った適正な管理に努めている。</p> | |

7 管理体制(組織図)

